平成21年度　作業療法推進活動パイロット事業報告

低年齢層を対象とした作業療法啓発活動
ーリハレンジャーによる訪問事業ー

三重県作業療法士会

はじめに

三重県作業療法士会では、毎年一般県民や高校生を対象としたさまざまな、啓発活動を行ってきた。

平成17年、三重県作業療法士会創立20周年を期に作業療法の新たな啓発手段として啓発キャラクター「リハレンジャー」を考案し、幼稚園・保育園児や小学生など低年齢層に対する啓発活動を始めた。

今回は、リハレンジャーによる啓発活動の取り組みについて報告する。

啓発活動の基本

1. 会員各自の臨床場面での対応

各会員が日々の活動を通し、作業療法の効果を示し、対象者を取り巻く関係者に直接的に啓発する

2. 士会組織の公益活動や法人格の取得

国・県・市町村への啓発に有効

１・２の活動が基本であり、個人活動を促進し組織的活動を強化することが重要である。

しかし、それだけでは不十分。過去の活動を継承しつつ、新しい活動を、積極的に展開していく必要がある。

リハレンジャーの紹介

リハレッド
身障分野;「愛と勇気のリハレッド」

リハブルー
老年期分野;「クールな頭脳のリハブルー」

リハグリーン
精神分野;「側で支えるリハグリーン」

リハイエロー
教育分野;「輝く未来のリハイエロー」

リハピンク
発達支援分野;「やさしさ守るリハピンク」

障がいや差別、介護疲れから優しい心をなくしてしまった、ダークキラー軍団

リハレンジャーの目的:
作業療法の啓発が主目的！

訪問プログラム概要

＜内容＞

プログラムⅠ：幼稚園・保育園→「福祉用具・自助具の体験が中心」

体験をする児童は、司会者が保育士と打ち合わせを行い、
スポットライトを当てたい児童を選ぶようにしている。

プログラムⅡ：発達障害児施設→「楽しみの提供が目的」「レクリエーションが中心」

音やリズム、五感で感じられる活動を準備する

プログラムⅢ：大型イベント→児童や大人の方も参加していただける内容を準備

＜時間＞

プログラムⅠ・Ⅱ：参加児童の集中力を配慮し、30分で終了できる企画

プログラムⅢ　：イベントの規模・対象者に合わせ、30分～60分程度の
ステージ企画を準備。イベントスタッフとして活動することもある

訪問事業プログラム・Ⅰ

幼稚園・保育園訪問：福祉用具・自助具体験が中心

①リハレンジャーショー（寸劇）　②福祉用具・自助具紹介（3～4種類）・体験

③リハレンジャーグッズプレゼント　＊自助具は、施設へ贈呈

訪問事業プログラム・Ⅱ

発達障害児施設：レクリエーションが中心

①リハレンジャーショー（寸劇）　②レクリエーション（ひも鈴体操）

③リハレンジャーテーマソング：歌と振り付け　④リハレンジャーグッズプレゼント

訪問事業プログラム・Ⅲ

大型イベント：リハレンジャー体操・クイズなどが中心

①スポーツ関連イベント；リハレンジャー体操

②大型舞台イベント；リハレンジャークイズ（OTに関する○×クイズ）

バリアフリーマラソン大会やレクリエーション大会では、準備体操などリハレンジャー体操を実施

参加者の多い大型イベントや県主催イベント等では、来場者にOTクイズなどを出題し、啓発を実施

リハレンジャー訪問事業

年度別訪問先：幼稚園・保育園・発達障害児施設

平成17年度：田丸保育所：67名
平成18年度：高田幼稚園：63名
　　三重保育院：90名
平成19年度：津西幼稚園：100名.
　　尾鷲第四保育園：50名
平成20年度：北勢きらら学園：60名
　　木戸幼稚園：50名.
　　竹野の森こども園：130名
平成21年度：石薬師保育園：84名
（6施設）　第2石薬師保育園：50名.
　　亀山愛児園：120名
　　北勢きらら学園：50名
　　重度心身障害児（者）学園バルツァ・ゴーデル（奈良県）：60名
　　東大寺福祉療育院病院（奈良県）：60名

田丸保育所
ケーブルテレビ取材

三重保育院

津西幼稚園

リハレンジャー訪問地

幼稚園・保育園訪訪問

発達障害児施設訪問

県主催イベント
関係団体主催イベント参加

リハレンジャー訪問スタッフ

(1)幼稚園・保育園訪問の場合→4名～9名

① 司会者:1名＊　② お侍さん:1名＊　③ 悪役:1名
④ リハレンジャー:2名～5名　⑤ 記録係:1名＊

（＊1・2・5は兼務、悪役も最後は仲間となりリハレンジャーを助ける）

(2)発達障害児施設の場合→ 5名～7名

① 司会者:1名　② リハレンジャー:3名～5名　③ 記録係:1名
④ お侍さん:1名　⑤ 悪役:1名

（レクリエーション企画が多いため、最低スタッフ数は多めとなる）

（リハレンジャーショーも行う時は、7～9名必要となる）

(3)大型イベントの場合→ 12名～15名

① 司会者:2名　② お侍さん:1名　③ 悪役:1～2名
④ リハレンジャー:5名　⑤記録係:1～2名　⑥会場整理係:2～3名

訪問グッズ

リハレンジャー衣装一式

リハレンジャーヘルメット

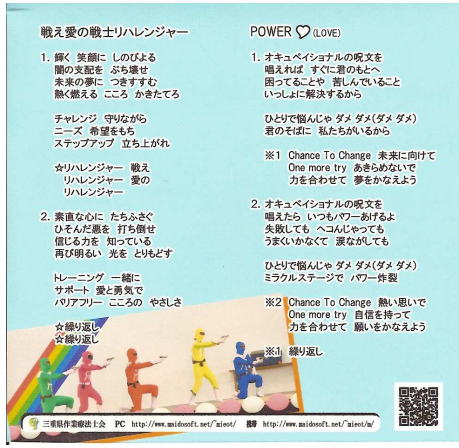
リハレンジャーブーツ

リハビーム鉄砲

啓発グッズ

1. リハレンジャーテーマソング：2作品
2. リハレンジャーバッジ
3. リハレンジャーシール
4. リハレンジャーぬり絵
5. リハレンジャースタンプ
6. リハレンジャー磁石
7. リハレンジャービデオ：2作品

2



戦え愛の戦士リハレンジャー

1. 輝く 笑顔に しのびよる
闇の支配を ぶち壊せ
未来の夢に つきすすむ
熱く燃える こころ かきたてろ

チャレンジ 守りながら
ニーズ 希望をもち
ステップアップ 立ち上がれ

☆リハレンジャー 戦え
リハレンジャー 愛の
リハレンジャー

2. 素直な心に たちふさぐ
ひそんだ悪を 打ち倒せ
信じる力を 知っている
再び明るい 光を とりもどす

トレーニング 一緒に
サポート 愛と勇気で
バリアフリー こころの やさしさ

☆繰り返し
☆繰り返し

POWER ♥ (LOVE)

1. オキュペイショナルの呪文を
唱えれば すぐに君のもとへ
困ってることや 苦しんでいること
いっしょに解決するから

ひとりで悩んじゃ ダメ ダメ(ダメ ダメ)
君のそばに 私たちがいるから

※1 Chance To Change 未来に向けて
One more try あきらめないで
力を合わせて 夢をかなえよう

2. オキュペイショナルの呪文を
唱えたら いつもパワーあげるよ
失敗しても ヘコんじゃっても
うまくいかなくて 涙ながしても

ひとりで悩んじゃ ダメ ダメ(ダメ ダメ)
ミラクルステージで パワー炸裂

※2 Chance To Change 熱い思いで
One more try 自信を持って
力を合わせて 願いをかなえよう

※1 繰り返し

三重県作業療法士会 PC http://www.mieotsoft.net/~mieot/ 携帯 http://www.mieotsoft.net/~mieot/m/

1：CDと歌詞カード

3

4

5

6

活動費内訳

平成21年度作業療法推進活動パイロット事業　補助金

	補助金	備　　考
会議費	64,550	企画打ち合わせ会議18回開催
旅費交通費	38,500	一律500円（幼稚園・保育園・発達障害児施設：6ヶ所、子供関連イベント：2ヶ所）
消耗品費	383,190	ブーツ、缶バッチ、缶磁石、自助具材料など
印刷製本費	2,190	
通信運搬費	9,470	
合　　計	497,900	

<その他費用・当県士会負担費用>

リハレンジャーヘルメット(5人分):425,000円
リハレンジャースーツ（5人分）：25,000円
リハレンジャーぬり絵、テーマソングCD
＊リハレンジャーの衣装代：1人分約125,000円

訪問効果
～訪問1年後･3年後の追跡調査～

第43回日本作業療法学会（福島県）にて発表

＜対象と方法＞

1.対象

平成17年度から平成20年度まで訪問事業を行った6ヵ所の保育園･幼稚園のうち、卒園後も同区内の小学校へ就学する2校の小学生児童を対象とした。

◆A小学校3年生65名（男子37名、女子28名）
A保育所の5･6歳児：3年後の調査

◆B小学校1年生17名（男子13名、女子4名）
B保育園5･6歳児：1年後の調査

2.方法

アンケート用紙を使用。5項目8問の設問に対し選択解答

アンケート結果

アンケート

ねん　なまえ

◆あてはまるものに○をつけましょう。

1. この え や しゃしんのひとたちを、みたことがありますか。
   （　　）ある
   （　　）ない

2. この え のひとたちは、だれでしょう。
   （　　）リハレンジャー
   （　　）ゴオオンジャー
   （　　）デカレンジャー
   （　　）しらない

3. おさむらいさんは、うでをけがしました。どういうとき、こまるでしょう。こまるとおもうことに○をつけましょう。
   （　　）ごはんをたべるとき
   （　　）うたをうたうとき
   （　　）あるくとき

4. つぎの ことばをしっていますか。しっている ことばに○をつけましょう。
   （　　）さぎょうりょうほう
   （　　）りはびり
   （　　）しらない

5. ふくし　ようぐのしゃしんです。しゃしんのなまえは なに でしょう。

①
（　　）えんぴつけずり
（　　）りんごむきき
（　　）しらない

②
（　　）まがる スプーン
（　　）おれる スプーン
（　　）しらない

③
（　　）かべのある さら
（　　）すくいやすい さら
（　　）しらない

④
（　　）くるまいす
（　　）じてんしゃ
（　　）しらない

ありがとうございました

アンケート結果（まとめ）

リハレンジャー	リハビリ	作業療法	福祉用具
1年後‥90% 3年後‥58%	1年後‥58% 3年後‥67%	1年後‥18% 3年後‥15%	1年後・3年後 正答率高い
3年後の記憶は約半数 年代別に継続的な啓発活動が必要	リハレンジャーからの連想かTVなど社会的情報源が多い	日頃の生活に馴染みが少ない言葉 啓発方法の検討必要	体験したものは覚えている 日常生活で見かけるものは覚えやすい

「リハレンジャー」キャラクターは、低年齢層に対し親しみやすく「リハビリ」や「作業療法」の啓発活動の導入がしやすく、記憶にも残りやすいものであることがわかった。しかし、３年後の記憶は約半数となっており、年代別に継続的なアプローチを行うなど長期的な啓発活動の必要性があると考えられた。

マスコミ・メディアへの啓発

1. 新聞社

頻回な取材依頼は必要であるが

<u>児童向け企画は、受けが良く</u>

カラー写真での記載も多い

作業療法士の仕事 幼児に寸劇で紹介

鈴鹿 福祉用具使いクイズも

作業療法士 味方にして。

2. ケーブルテレビ

取り上げられた番組により、<u>1ヶ月間連続放映される</u>こともある

<u>地元密着型であり、反響が大きい</u>。<u>ケーブルテレビ会社毎</u>の依頼有効

ケーブルテレビ側からの依頼で「リハレンジャー密着番組」製作

3. FMラジオ

リハレンジャー関連で2回出演

きっかけは<u>イベントでの活動紹介</u>

キャラクター利用効果

作業療法啓発キャラクター「リハビリ戦隊 リハレンジャー」の活動も6年目を向え様々な効果が得られている。

1. イベントでの抜群の集客力

児童・親子連れだけでなく、中高校生、高齢者、外国人にも大人気！
自然と人だかり、大半のひとに配布物を受け取ってもらえる

2. 低年齢層啓発へは最強のアイテムとなる

目の輝きが違う。 活動の導入には有効

3. 医療関係団体のキャラクターという安心感？

イベントを見た団体からリハレンジャーの出演依頼が増加。県主催イベントも常連に

4. キャラクターはインパクトがありマスコミの目に留まりやすい

テレビ・新聞取材も多く、リハレンジャーがニュース映像や雑誌に掲載されやすい

5. 県士会会員へのモチベーション向上に有効

啓発活動の機会を与え、自覚を促せる。リハレンジャー参加のリピーターが多い

今後の課題

1. ひとの問題

リハレンジャーの養成（質）→活動のマニュアル化・育成研修会の開催
新規メンバーの開拓（量）　→先輩から後輩へ・知人から知人へ
人のつながりを強化
平日、訪問事業に参加するメンバーの調整→職場の理解

2. 活動資金の問題

啓発グッズの製作費用、消耗品の費用調達→協会で一括購入・配布

3. 有効な啓発方法の検討

新グッズの開発→文房具・絵本
マスコミ、メディアの活用→費用対効果　取材側の気持ちを引けば勝ち
10年単位の長期計画となる→効果を信じ継続していくパワーが必要！
つかみはOK!　どのように啓発につなげるか？→アイデア募集

展望！

会員ひとり、ひとりがリハレンジャー！

めざせ！全国士会でリハレンジャー結成！！